



毎月20日は ペットフードの日

市販のペットフードを利用した方がいい理由

人間とペットでは、必要な栄養素と量が異なります。健康維持のためには、それぞれのペットに必要な栄養成分を含むペットフードを与えることが好ましいと言えます。また、ペットには、それぞれ与えてはいけな食べ物もありますので、注意が必要です。ここでは、特に犬と猫を中心に紹介します。

犬 猫 小動物 鳥類 魚類 必要な栄養素の違い

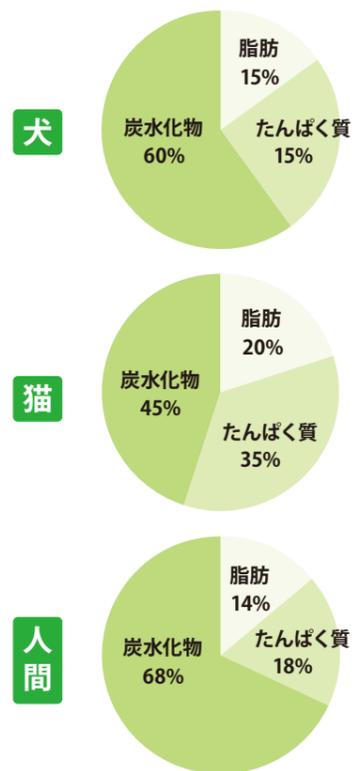
犬は雑食性、猫は肉食と言われており、私達人間と好みも代謝も異なります。健康維持のためには、犬には犬の必要栄養成分を含むドッグフード・猫にはキャットフードを与えるのが好ましいといえます。また、犬・猫だけでなく、小動物や魚類等のフードの研究も進み、ペットの健康を考えた専用フードも様々に揃っています。

犬 猫

犬はたん白質の必要量が人間より多く必要ですが、もともと雑食性で、必要な三大栄養素（蛋白質・脂肪・炭水化物）の割合は人間と全般的によく似ています。

猫は、肉食性であるため、人間や犬に比べてたん白質が多く必要です。また、人間や犬では、生理的に必要なタウリンや、ビタミンAなどを体内で作ることができるのに対して、猫では作ることができないため、タウリンを十分に含んだフードを与える必要があります。

犬、猫、人間の平均的な食事が必要とされる三大栄養素の割合



※たんぱく質と脂肪、炭水化物を三大栄養素とよびます。

小動物 鳥類 魚類 小動物・鳥・鑑賞魚など

ウサギ・フェレット・モルモット・チンチラやカメ・鳥・鑑賞魚など、様々なペットに合うフードが市販されているので、それぞれのペットに合うペットフードのご使用をお勧めします。



ペットフード/ペットマナー検定公式テキストより